

施策 No.	7	施策名	文化芸術の振興と文化財の保護・継承
主管課名	文化課	電話番号	0285-83-7732
関係課名	生涯学習課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	1）市民 2）文化財の管理者・継承団体等						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,995	78,592	77,635	77,578	76,972	76,498
指定・登録文化財	件	226	226	226	226	226	226

施策の目標	文化芸術活動の推進により、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充する。 文化財の適切な保存管理と伝統文化の継承をする。								
成果指標設定の 考え方及び 指標の把握方法 （算定式など）	文化芸術活動推進について ・市民会館利用者・市民会館利用人数は、指定管理者月例報告より把握する。 ・文化協会会員数は、総会時加入団体から報告された人数。 ・久保記念観光文化交流館美術品展示室と久保資料室、まちかど美術館はそれぞれ入場者数とする。 （文化財の保護・継承については、指定・登録文化財や地域の伝統文化など既にあるものを保存継承していくことが目標であるため、総合計画策定において個々の成果目標は設定されなかった。）								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
市民会館利用人数	目標値	人	89,068	90,856	92,642	94,428	96,214	98,000	98,000
	実績値			15,657	35,463	53,975	74,245	82,445	
文化協会会員数	目標値	人	2,130	2,144	2,158	2,172	2,186	2,200	2,200
	実績値			1,975	1,749	1,717	1,696	1,653	
文化協会加入団体数	目標値	団体	131	131	133	135	137	140	140
	実績値			118	102	100	98	96	
久保記念観光文化交流館 美術品展示館入場者数	目標値	人	16,553	17,242	17,931	18,620	19,309	20,000	20,000
	実績値			2,909	6,920	11,714	14,036	12,914	
久保記念観光文化交流館 久保資料室入場者数	目標値	人	17,138	17,710	18,282	18,854	19,426	20,000	20,000
	実績値			3,137	7,246	5,431	5,953	7,059	
まちかど美術館入場者数	目標値	人	2,579	2,661	2,748	2,832	2,916	3,000	3,000
	実績値			386	761	1,309	2,253	2,802	
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に 向けての 住民と行政との 役割分担	・市民は、自ら積極的に文化芸術に興味を持ち活動する。地域の歴史や文化への理解を深め、文化財を保護継承することの大切さを認識する。 ・行政は、文化芸術活動の企画運営、環境整備を行う。また、文化活動を担う人材、文化団体の育成支援を行う。文化財所有者（管理者）等が実施する保存管理や事業について指導助言を行い、文化財の保護や啓発機会を提供するための環境を整備する。
-------------------------------------	--

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

○市民会館利用人数について

【要因分析】市民会館利用人数については、市制施行70周年記念イベントの実施などにより、令和5年度と比較して1.1倍となった。コロナ禍で利用者が激減した令和2年度以降、増加傾向にあるが、目標値に対しては約8.4%にとどまっている。さらなる利用促進を図るためには、市民や団体がいつでもどこからでも施設の予約ができるサービスが求められる。

【課題】施設をオンライン予約できる環境を整備し、市民や団体の利用促進及び利便性を高めていく必要がある。また、指定管理者との連携し、様々な芸術文化を鑑賞・体験できる拠点施設として魅力ある多彩な自主事業を展開することで、来館者の増加に繋げていく。

○文化協会会員数及び加入団体数について

【要因分析】会員数及び加入団体数は各々減少傾向にある。従来より価値観の多様化や高齢化の進展により会員数・団体数が減少傾向にあったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期間団体の活動や練習ができなくなった等の理由から団体の解散につながり、文化協会からの退会が生じている。

【課題】文化協会への加入団体を増やすための取り組みを継続する。

○久保記念観光文化交流館美術品展示館及び久保資料室の入場者数について

【要因分析】展示館では、計画的に企画展やワークショップを開催したが令和5年度と比較すると入場者が8%減少となった。令和6年度は、7月から8月の入場者が大きく減少したことから、記録的猛暑により外出を控える状況にあったことも要因として考えられる。また、久保資料室の入場者は、目標の約3.5%に留まっているが、令和6年度からスタンプラリーのポイントに追加したこともあり、前年比で19%増加している。

【課題】入館者数を増やすため、まちかど美術館と連携した企画展の開催、観光コンシェルジュによる門前ツアーと連携したギャラリー・トークツアーを開催し、回遊性を高める取り組みを継続する。まちかど美術館を含めた周辺施設によるスタンプラリーの拡充など、観光部門との連携強化を図る。久保資料室の展示品は、今後、美術館と連動した展示替えを検討していく。

○まちかど美術館入場者数について

【要因分析】まちかど美術館の入場者数は、目標値には達していないが、計画的な企画展の開催、ギャラリートークツアーのほか、1階まちなか保健室と連携したワークショップの開催などの取り組みにより、目標の93.4%まで引き上げることができた。また、3階市民ギャラリーの広報周知にも努め、開館以来初めて12団体が利用した。（年間利用可能日数302日のうち、利用日数238日）

【課題】さらに入場者数を増やすため、展示内容を工夫するとともに、認定まちかど美術館及び観光部門との連携を進める。また、市民ギャラリーの利用率向上に取り組む必要がある。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

○市民会館利用人数について

・指定管理者と連携を密にし、指定管理者が有する企画・運営力を活かした魅力ある自主事業の開催とSNSの活用など効果的な周知広報により来館者増を図る。施設予約については、オンライン予約システムの導入により令和7年度から受付を開始し、更なる利便性の向上と利用者数の増加を図る。

○文化協会会員及び加入団体について

・新規加入団体の増加に向けて、市内で活動している文化協会未加入の文化団体等に対し、文化協会の趣旨を伝え入会を促す。文化協会ホームページの充実化により、各団体の活動内容や会員募集案内、展示会及びイベント告知を掲出するほか、SNSも活用して、各団体の情報発信を支援していく。

○久保記念観光文化交流館美術品展示館及び資料室について

・魅力ある企画展やワークショップの開催等により入場者を増やすとともに、訪れた人が市内近隣の民間美術館（真岡市認定まちかど美術館）を含めた市内施設にも足を運んでもらうよう「もおかアート散策マップ」を用いて鑑賞を楽しんでもらう。また、美術品展示館及び2階資料室もスタンプラリーに加え、各美術館のほか、観光協会窓口等で配布し、回遊性を高める。さらに、観光コンシェルジュと連携したギャラリートークツアー等を通して、美術品展示館を観光拠点として位置付ける。

・県内外の美術館等との関連企画展や市が所蔵している美術品および他館が所蔵する久保貞次郎ゆかりの芸術家の作品を相互貸借するなど、全国の美術館等と連携し、美術品の鑑賞機会の充実を図る。

・一般財団法人地域創造が主催している、公立美術館の所蔵品を活用する共同巡回展「真岡市所蔵没後30年記念久保貞次郎コレクション」に所蔵品を提供し、本展を通して久保貞次郎の幅広い功績を全国に発信するとともに久保記念観光文化交流館美術品展示館の存在を広く周知していく。（「公立美術館活性化事業」については協力館として参加予定。令和7年度準備・8年度開催）
なお、2階の久保資料室の展示については地域創造事業に貸し出し予定の所蔵品が返却されたのち、資料等の入れ替えなどリニューアルを図る。

○まちかど美術館について

・久保記念文化観光交流館美術品展示室とまちかど美術館とで関連企画展を開催し、美術品に対する理解を深めるとともに、市民の美術に対する関心を高める。また、学芸員が展示の見どころを解説しながら案内するギャラリー・トークツアーを引き続き開催する。3階市民ギャラリーの貸し出しについては、学芸員による展示アドバイスを含めて、市外にも幅広く周知することで利用促進を図る。

・まちなか保健室との相互連携を進め、田町館において学芸員によるワークショップを引き続き開催する。さらに、にのみや館でもワークショップを開催することで、まちかど美術館の周知に取り組む。

○文化財施設の活用について

・文化財の歴史的価値を広く周知するとともに、久保講堂など、貸館を行っている施設については、文化財としての価値を維持しつつ、幅広く活用できる方策を検討し、活用件数の増加を図る。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和6 年度実績	今後の方向性
1		指定文化財修繕支援事業	文化課文化財係	国、県補助金を受け修繕された文化財の件数	件	1	現状維持
				市補助金を受け修繕された文化財の件数	件	0	現状維持
				新設、修繕した文化財解説板等の件数	件	3	現状維持
2		無形民俗文化財保存育成支援事業	文化課文化財係	指定無形民俗文化財保存団体数	団体	9	現状維持
				その他の無形民俗文化財保存団体数	団体	6	現状維持
				指定、その他の無形民俗文化財の後継者数	人	310	現状維持
3		文化財保護啓発事業	文化課文化財係	歴史教室開催（参加者延べ人数）	人	508	現状維持
				文化財めぐり開催（参加者延べ人数）	人	77	現状維持
4		大内資料館管理事業	文化課文化財係	登録文化財大内資料館の適切な保存のための修繕	箇所	0	現状維持
				敷地の適正管理のための樹木剪定、除草作業委託	回	5	現状維持
				利用者数	人・回	30/5	現状維持
5		金鈴荘管理運営事業	文化課文化財係	修繕により復元した箇所数	箇所	0	現状維持
				見学者数	人	8,378	現状維持
				撮影等使用者数	人・回	148/15	現状維持
6		桜町陣屋跡管理事業	文化課文化財係	見学者数	人	5,084	現状維持
				報徳田活用イベント参加者数	人	750	現状維持
7		真岡市美術展開催事業	文化課文化振興係	出品作品数		-	現状維持
				開催日数	日	50	現状維持
				1日あたりの入場者数	人	45	現状維持
8		真岡市文化祭開催事業	文化課文化振興係	文芸・展示部門（茶道含）出品数、将棋大会参加者数	点/人	1,285	事業のやり方改善
				ホール部門出演演目数	演目	47	事業のやり方改善
				入場者数	人	1,394	事業のやり方改善
9		真岡市音楽祭開催事業	文化課文化振興係	観客数	人	781	現状維持
				参加者数(出演者＋運営スタッフ)スタッフは出演しない団体から	人	585	現状維持
10		真岡市文化協会運営補助事業	文化課文化振興係	文化協会加入団体数	団体	95	事業のやり方改善
				会員数	人	1,690	事業のやり方改善
11		移動音楽鑑賞教室実施事業	文化課文化振興係	市内中学生のうち参加した中学生の割合	%	31.1	現状維持
12		市民芸術鑑賞事業	文化課文化振興係	真岡市芸術鑑賞会個人会員数（823人）＋法人会員（5事業所×5口＝25口）	人/事業所	848	現状維持
				映画会来場者のうち会員の割合（3,580人/4,795人）	%	74.7	現状維持
13		子ども未来育成事業	文化課文化振興係	市内小中学校の内利用した学校数	校	5	現状維持

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

[illegible]